

## I 調査概要

### 1. 調査目的

水に関する意識や行動及び多様化する市民ニーズを調査・分析することで今後の水道事業を進めていくための基礎資料とする。

また、前回（平成 18 年度）、前々回（平成 14 年度）の調査結果との経年比較を行い、傾向の変化を把握する。

### 2. 調査項目

- (1) 水道水について
- (2) 節水意識について
- (3) 貯水槽の管理について
- (4) 福岡市の水源及び水源地域・流域との連携協力について
- (5) 水道のお客さまセンターや各営業所について
- (6) 水道局の広報について
- (7) 福岡市の水道行政について

### 3. 対象者と調査方法

- |           |                                   |
|-----------|-----------------------------------|
| (1) 調査地域  | 福岡市全域                             |
| (2) 調査対象者 | 福岡市内に居住する満 20 歳以上男女（外国人除く）        |
| (3) 抽出方法  | 住民基本台帳より無作為抽出                     |
| (4) 対象者数  | 3,000 人                           |
| (5) 調査方法  | 郵送配布一郵送回収                         |
| (6) 調査期間  | 平成 22 年 10 月 29 日（金）～11 月 12 日（金） |

### 4. 回収結果

有効回収数 1,847（回収率 61.6%）

※前回（平成 18 年度）1,765（回収率 58.8%）、前々回（平成 14 年度）2,128（回収率 70.9%）

### 5. 報告書の見方

- (1) 前回、前々回の調査結果の記載がない質問は、今回調査での新規の質問である。
- (2) 集計は小数点以下第 2 位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも 100%になるとは限らない場合がある。
- (3) 2 つ以上の回答を要する質問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。
- (4) 数表、図表、文中に示す N は、比率算出上の基数（標本数）である。  
N = 標本全数  
n = 該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (5) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合がある。
- (6) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2 つ以上のものを合計して表す場合などは『 』としている。

- (7) 2つ以上の選択肢を合計して表している比率については、各選択肢の基数（標本数）の合計を基に算出しているため、選択肢個々の回答比率の合計とは、必ずしも同じにならない場合がある。
- (8) 属性別集計の場合、不明の回答者を除いた結果としている。
- (9) 標本誤差（b）は下式により求められる。

$$\pm b = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

（N：母集団数、n：回答者数、p：回答比率）

※母集団数は平成22年12月末現在の福岡市の20歳以上の人口

調査数 \ 回答比率	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
1,847	±1.0	±1.4	±1.6	±1.8	±2.0	±2.1	±2.2	±2.2	±2.3	±2.3
1,500	±1.1	±1.5	±1.8	±2.0	±2.2	±2.3	±2.4	±2.5	±2.5	±2.5
1,000	±1.4	±1.9	±2.2	±2.5	±2.7	±2.8	±3.0	±3.0	±3.1	±3.1
900	±1.4	±2.0	±2.3	±2.6	±2.8	±3.0	±3.1	±3.2	±3.2	±3.3
800	±1.5	±2.1	±2.5	±2.8	±3.0	±3.2	±3.3	±3.4	±3.4	±3.5
700	±1.6	±2.2	±2.6	±3.0	±3.2	±3.4	±3.5	±3.6	±3.7	±3.7
600	±1.7	±2.4	±2.9	±3.2	±3.5	±3.7	±3.8	±3.9	±4.0	±4.0
500	±1.9	±2.6	±3.1	±3.5	±3.8	±4.0	±4.2	±4.3	±4.4	±4.4